



33歳 埼玉県議会議員

吉田よしのり

通信 第124号 2008年 4月号

新座市野寺2-8-48 (八石小学校となり)

電話 048-483-2777

FAX 048-483-2780

ホームページ <http://www.yoshiday.com>

メール saitama@yoshiday.com

【発行：民主党・無所属の会・県政へのご要望をお寄せ下さい！】

- 1974(昭和49)年7月27日、北海道生まれ(33才)。大阪府寝屋川市三井中央幼稚園、大阪市立新森小路小学校、西東京(旧保谷)市立青嵐中学校、板橋区立赤塚第三中学校、法政第一高校を経て法政大学法学部卒業。卒業後、野村證券㈱に入社。横浜、青森支店等にて資産管理、営業課にて勤務。
- 2000年2月、新座市議会議員に市政始まって以来の3,855票でトップ当選。
- 2003年4月、埼玉県議会議員選挙に16,598票で2位当選。
- 2007年4月、同選挙に23,062票、トップにて再選。無所属、民主党を中心とした会派「民主党・無所属の会」を結成。徹底した行財政の効率化、情報公開推進などを訴える。
- 趣味は、旅行、水泳、サイクリング、ドライブ、野球観戦、登山、写真、お茶等。
好きな言葉は「お前がやらずに誰がやる、今、やらずして、いつ出来る。」「初心不可忘」



1兆7,181億円の埼玉県・平成20年度予算が成立！



平成20年度の埼玉県新年度予算が成立しました。一般会計の規模は1兆7,181億円で、前年度より0.4%増の予算となっています。

今回の予算は昨年夏に当選した上田知事の選挙公約でもあるマニフェストで掲げた項目に沿って予算化された一方、将来にツケを残さないという観点から、財政の健全化にも重点が置かれた予算となりました。

特色あるものでは環境関連予算が大幅に増額され、上田知事の肝いりでスタートする河川再生予算をはじめ、緑の基金の創設など環境関連予算に重点が置かれています。

その他にも教育関連予算、産科医をはじめとする医師不足対策予算など県民生活に欠かせない分野の予算を確保しながら、大型公共工事を抑制させ、財政健全化に向けた予算となっています。

ただ、そうした財政健全化を図ると言いながらも埼玉県の借金総額が3兆円の大台に乗ることとなりました。県が発行している県債にも大きく分けて二種類あり、国が交付

する地方交付税の一部を埼玉県に借金をさせる県債もあり、特にこの部分については埼玉県が利が利かないため、結果として県債残高が膨らんでしまっている現状があります。埼玉県の判断で起債する県債については年々減少させています。

今後とも財政健全化に向け、議会サイドからも注力してゆきます。

議会スタッフ、秘書、政治家志望の方を募集します！

議会活動の補佐、秘書、将来政治家志望の方など事務所スタッフを募集しています。

また、アルバイトやインターンも随時募集しています。お気軽にお問い合わせ下さい！

【民主党・無所属の会・新座事務所
吉田よしのり事務所】まで

吉田よしのりの一行日記！

- 2/18 県議会、上田知事後援会
- 19-20 県議会開会本会議等
- 21-22 県議会・議案調査等
- 23 埼玉日本保育協会総会等
- 24 歌謡演奏会、代議士打合せ
- 25 県議会本会議
- 26 県議会、議会運営委員会
- 27 県議会本会議等
- 28 本会議、議会運営委員会
- 29 県議会、市議団との打合せ
- 3/1 民主党県連大会ほか
- 2 早朝座談会、事務所作業
- 3 志木駅頭、県議会議案調査
- 4 ひばりが丘駅頭、地域訪問等
- 5 新座駅頭、県議会議案調査
- 6 県議会議案調査、事務所
- 7 県議会総務委員会、議運
- 8 商工会青年部事業
- 9 教育問題シンポジウム
- 10 県議会総務危機管理委員会
- 11 朝霞台駅頭、市内地域訪問
- 12 清瀬駅頭、教育改革委員会
- 13 市内地域訪問、打合せ等
- 14 市立第五中学校卒業式ほか
- 15 新座市消防団長祝賀会ほか
- 17 東久留米駅頭、県議会調査
- 18 大泉学園駅頭、大利根町長選挙
- 19 新座団地キャン、総務委員会
- 20-21 議会運営委員会等
- 23 市内地域訪問、陳情処理等
- 24 県議会本会議、閉会
- 25 県議会議案処理、事務処理
- 26-27 商工会事業ほか
- 28 市内地域訪問、支持者打合せ
- 29 志木駅前商店会事業
- 30-31 新座団地祭り、市内訪問

道路特定財源、暫定税率の廃止について

道路特定財源に関して、埼玉県議会でも予算審議に際し議論が沸き起こりました。今回可決した新年度予算は道路特定財源が維持されることが前提となっている予算で、今回の事態に至り補正予算等を組む必要性が出て参りました。

そもそも政府は「地方に大きな迷惑がかかる」と言いますが、三位一体の改革の際にも、突然、交付税をカットしたり義務教育費の国庫負担率の引き下げなど「大きな迷惑」をかけており、今回の件のみをことさら強調するのは議論の本質を見誤ることとなります。



[写真上・新座市内の生活等の道路整備は順調に行われています。]

また、ガソリン税を値下げすることは、環境を話題の中心とするサミット議長国として、採るべき政策ではないという議論もありますが、そもそもガソリン税の大半を環境問題に充てている欧州などと違い、日本は「特定財源」という名のとおり、税収を道路整備に充てており、この指摘も当てはまりません。

私は道路特定財源の一般財源化には当然賛成で、自主的に主張している訳ではないにしろ、地方が「特

定財源の堅持」を建前的にも主張することは、地方自ら「自治」を否定するようなものであると考えます。

ただ、地方は新年度予算の枠組みを前年末には形作っており、年度末の時点での民主党の対応にも問題があります。私も会派の政審会長として民主党本部から、新年度輪予算の組替えの提案を頂きましたが、余りにも時間がなく、また、予算の裏づけも不確実性が多く、結局組替を断念いたしました。

三位一体改革の際の与野党の攻防もそうでしたが、現状は、常に国政の議論に地方が巻き込まれる状況です。早く地方が独自の財源を確保し、地方独自の方針に基づいて行政サービスが出来るようにならないと痛感しています。

政務調査費を完全公開！

公約で掲げていました政務調査費をいよいよ公開いたします。新聞等で問題視されている政務調査費ですが、平成19年度分より、22名会派全員分を一気に公開いたします。自民、公明両党とも公開しておらず一石を投じる形になります。

私自身は地元では自主的に公開してきましたが、会派そろっての公開は始めてです。公費から支給している以上、一円以上、領収書を添付しての完全公開は当たり前のことです。今後とも議会改革に、さらに取組んで参ります。